

平成30年度 学校経営方針

下野市立祇園小学校

平成30年度スローガン 『当たり前のことを、当たり前にする！』

－全職員で協調、協働し、当たり前ことはあたりに教育活動を推進します。－

1 教育目標

社会の変化に主体的に対応できる「生きる力」を育むことを目指し、「健やかな体」、「確かな学力」、「豊かな心」の調和のとれた児童の育成を図る。



新しい時代に共によりよく生きようとする、

心身ともに健康で、知性に富み、情操豊かな子どもの育成

- 健康で明るい子 (たくましく)
- 進んで学ぶ子 (かしこく)
- 心の豊かな子 (なかよく)

(1) 具現化の視点 (目指す児童像)

① 健康で明るい子

- ・めあてを持ち楽しく運動する子
- ・健康や安全に気を配れる子
- ・進んでよく働く子

② 進んで学ぶ子

- ・学び方がよく身につけている子
- ・自分の意見をきちんと説明できる子
- ・学び合い高め合う子

③ 心の豊かな子

- ・あいさつや返事がよくできる子
- ・だれとも仲良くし親切ができる子
- ・美しいものに感動できる子

(2) 具現化の方向性

① 目指す学校像

- ・明るく活力のある学校
- ・学び合う楽しい学校
- ・一人一人が目標に向かって精一杯頑張る学校
- ・保護者・地域と連携し、信頼される学校

② 目指す教職員像

- ・教育に対する情熱を持ち、子どもと共感できる教職員
- ・自己を磨き高める教職員
- ・変化に対応できる課題解決能力を持つ教職員
- ・心身ともに健康で、子ども・保護者・地域から信頼される教職員

2 本年度の重点目標及び取組

| | |
|------------|--|
| 健康で明るい子ども | <p>[重点目標] <u>協力し合って、生き生きと活動できる子どもを育てる。</u></p> <p>[具体的な取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生き生きとした係・委員会活動の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・目的意識の持たせ方の工夫 ・主体的な運営の機会や場の保障 ○奉仕的活動の奨励 ○意図的に運動に取り組む工夫 ○危機回避能力の育成と防災教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の工夫 |
| 進んで学ぶ子ども | <p>[重点目標] <u>自分の考えを広げたり深めたりする力や、資料選択、分析、読み取りの力を伸ばし、自ら考え、表現できる子どもを育てる。</u></p> <p>[具体的な取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習意欲の向上と基礎的・基本的な知識・技能の習得 <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動の推進（家読の奨励等） ・効果的な家庭学習の習慣化 ○各教科等の特性に合わせた言語活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・学び合う学習集団づくりに向けた話し合い活動の工夫 ・書くこと・話し合うことを手段とした思考力・判断力・表現力の向上 ○指導と評価の一体化 <ul style="list-style-type: none"> ・全校体制で評価計画（評価規準、場面、方法）の共通理解を図り、改善・充実に努める。 ・ねらいの実現状況を適切に評価し、個に応じた支援の充実に努める。 |
| 心の豊かな子ども | <p>[重点目標] <u>よりよい人間関係形成のために、自ら進んで取り組もうとする意欲をもつ子どもを育てる。</u></p> <p>[具体的な取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○誰もが安心して過ごせ、育ち合える学級づくり～学級経営の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣の確立やルールやマナーを尊重する態度を育成する指導の徹底 ・学業指導の充実 ・教育相談の充実と学校全体でのサポート体制の確立 ・特別支援学級に在籍する児童との交流 ○人と関わる力の向上～よりよい人間関係を深める取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・特別活動や縦割り班活動の充実 ・外部講師やボランティアなど、様々な人との交流 ○体験活動の充実 ○道徳教育の充実と豊かな情操の涵養 |
| 地域とともにある学校 | <p>[重点目標] <u>地域とともにある、特色ある学校づくりを推進する。</u></p> <p>[具体的な取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会の運営の充実と有効活用（1年目） ○小中一貫教育の推進（2年目） ○家庭や地域の教育力の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・各種ボランティアとの協働 ・保護者とのパートナーシップの促進 ○積極的な情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・各種たよりやHPによる発信 |

3 学校経営に関する重点目標等

[特別支援教育の推進]

- 配慮を要する児童への学習支援の充実を図る。
 - ・特別支援教育コーディネーターを中心とした個別の指導計画・教育支援計画の作成・評価
 - ・通級指導教室と特別支援学級及び交流学級担任、保護者との連携
- 通常学級における特別支援教育の充実を図る。
 - ・「安心感と分かりやすさ」のある授業と環境づくり～ユニバーサルデザイン化
 - ・特性や多様性を認め合い、相互補完できる関係づくり

[保護者、地域から信頼される「地域とともにある学校」づくり]

- 学校運営協議会の運営の充実と有効活用を図る。
 - ・学校経営に関する課題の明確化と、充実・改善に向けた協働体制の確立
- 家庭や地域の教育力の活用を図る。
 - ・地域連携教員を核とした学校外部の人材との連携、協働
 - ・小中連携（緑小学校、南河内第二中学校）と交流の推進
 - ・「当たり前のことを当たり前にする」を踏まえた生活習慣づくり
- 積極的な情報提供（各種たより、HP等）に努める。

[児童の安全確保と危機管理]

- 事件事故の未然防止に努め、組織的取組を心がける。
 - ・安全指導の徹底
 - ・問題の未然防止と、問題発生時の組織的対応の確立
 - ・報告連絡相談の徹底

[働き方改革の推進] [教職員の児童と向き合う時間の確保]

- 教育課程、校務分掌、学校評価等の見直し、改善（学校業務の効率化と精選による教育の質の向上）を図る。
 - ・分掌業務の精選、適材適所の職員配置
 - ・学校行事の精選
 - ・出退勤時間の管理